

ご自由にお持ち帰りください

TOHOからのお知らせ

T O H O M I N I R E P O R T 2 0 1 1

平成23年
3月期

108期
事業のご報告

ミニディスクロージャー誌



【新コーポレート・メッセージ】

すべてを地域のために

これからもふるさと福島県に根ざし、
未来への確かな希望と皆さまをつなぐ架け橋になりたい。
それが私たちの願いです。



すべてを地域のために

東邦銀行

地域の復興・地域活性化のために 全力で取組んでまいります。

——すべてを地域のために——

皆さまには、日頃より東邦銀行グループをご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。また、このたびの東日本大震災により、被災された皆さまに心よりお見舞い申しあげるとともに、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申しあげます。本年も「T O H Oからのお知らせ」を作成いたしましたので、ご覧いただければ幸いです。

さて、東邦銀行の主たる営業基盤である福島県の経済につきましては、生産活動などにおいて持ち直しの動きが続いておりますが、震災の影響および原子力発電所の事故により甚大な被害を受け、一時的な停滞を余儀なくされております。当行におきましても、一時最大29店舗が休業を余儀なくされましたが、現在では警戒区域内にある6店舗を除きすべて営業を再開しております。

このような環境のもと、当行は目指すべき銀行像として「大きく・強く・たくましく」を長期目標に掲げるとともに、中期経営計画「地域いちばん銀行計画2009」に取組んでまいりました。



計画の2年目である平成22年度においては、取引先企業の多様な資金需要や事業承継対策、販路拡大などのニーズに対応するため、経営課題提案型営業を展開し金融円滑化に取組む一方で、次世代型店舗「北福島支店」を今年2月にオープンするなど、お客さまの利便性向上にも積極的に取組んでまいりました。

また、震災発生以降、「災害対応資金」や「災害復旧ローン」を創設するなど、地域復興に向けた円滑な資金供給に努めてまいりました。一方で、CSR活動におきましては、植林活動や金融商品を通じた環境問題への取組みを強化するとともに、今年4月に「陸上競技部」を創設するなど、社会面においても

取締役頭取

北村 清 士

目次

C O N T E N T S

- 01 ごあいさつ
- 03 決算ハイライト／損益の状況
- 04 [座談会] 東邦銀行陸上競技部
ふるさと“ふくしま”と
陸上競技
- 07 CSR (企業の社会的責任) への取組み
- 09 ズームアップ企業人
有限会社津食のルネッサンス
代表取締役 本田勝之助氏
- 12 TOHO トピックス ①
- 13 東日本大震災関連のお知らせ
- 15 防災チェックリスト
- 16 TOHO トピックス ②
- 17 総預金と貸出金の状況／
不良債権の状況
- 18 22年度決算のご報告・
グループの22年度決算のご報告
- 19 先人の知恵を知る ふくしまの「技」探訪
大堀相馬焼(浪江町)
- 20 株式についてのご案内・役員
- 21 ふるさとの情景／齋 正機氏



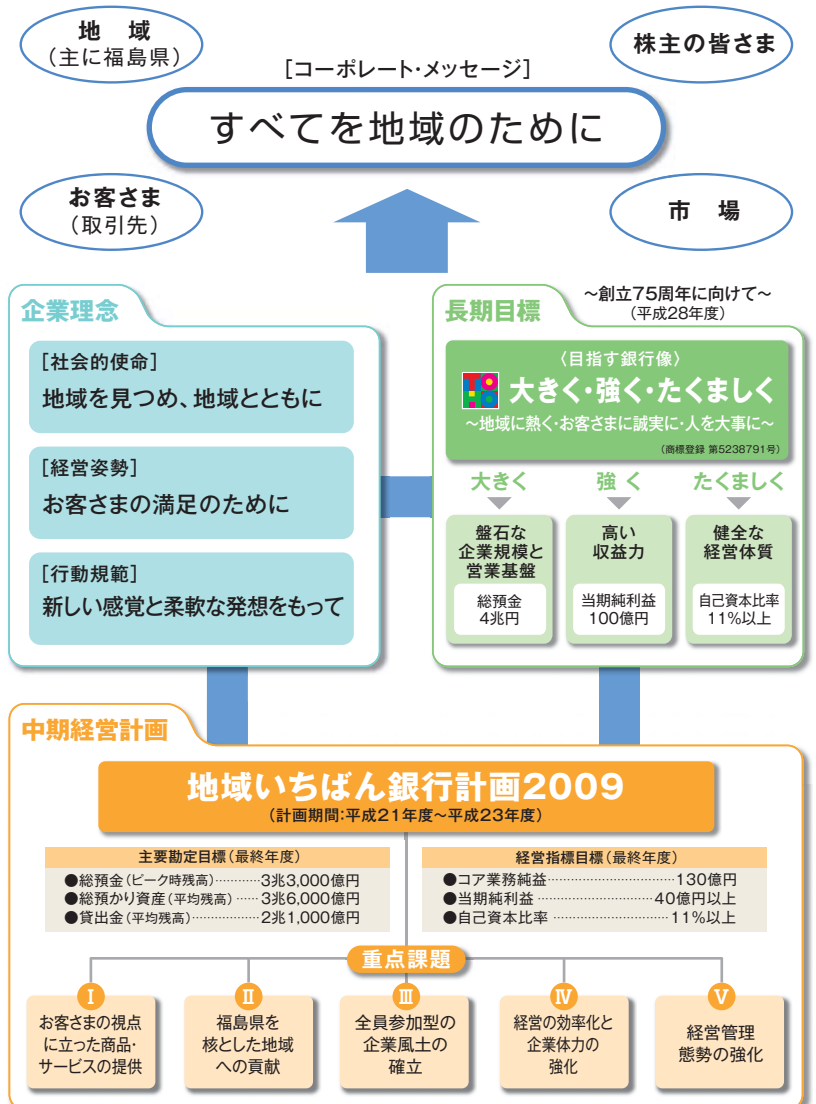
花見山(福島市)

22 TOHO ギャラリー

新たな取組みを始めさせていただきます。
私ども東邦銀行は、今年11月に創立70周年を迎えることとなります。この節目にあたり、福島県を中心とした地域経済の復興に全力で取組む姿勢を明確にするため、新たなコーポレートメッセージ「すべてを地域のために」を制定いたしました。この新たなコーポレートメッセージのもと、福島県の地域経済が早期に回復し、皆さまが安定した生活を取り戻すことができるよう、役員一人ひとりが汗を流し、東邦銀行グループの総力をあげて復興支援に取組む所存であります。

今後ともより一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月



決算ハイライト

23年3月期、当行は安定的な収益および十分な健全性を確保し、皆さまから高い信頼を得ています。

当期純利益

44億円

[22年3月期比]

23億円
減益

自己資本比率

10.88%

[22年3月末比]

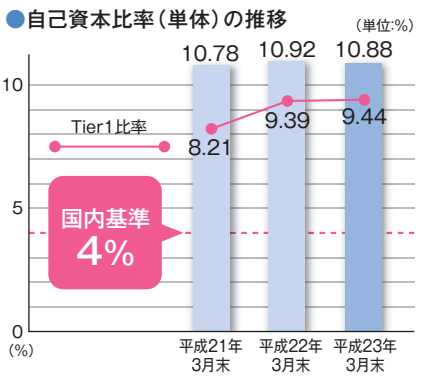
0.04ポイント
低下

総預かり資産残高
(総預金+預かり資産)

3兆4,756億円

[22年3月末比]

1,056億円
増加

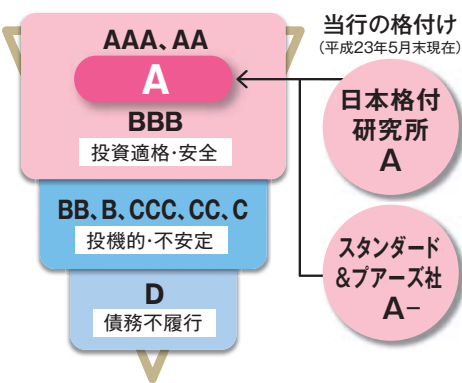


Tier1比率
自己資本比率における自己資本は、資本金、資本剰余金、利益剰余金の基本的項目(Tier1)と、一般貸倒引当金等の補完的項目(Tier2)とに区分されます。Tier1比率は、補完的項目(Tier2)を除く中核的自己資本比率と言えます。

自己資本比率
自己資本比率は銀行の信用度、健全性を示す重要な指標です。海外で業務を営む銀行は8%以上(国際統一基準)、当行のように国内のみで業務を営む銀行は4%以上(国内基準)を維持することが義務づけられています。

銀行経営の健全性を測る上で重要な指標となっている自己資本比率(単体)は10.88%となり、国内基準の4%を大きく上回っています。また、Tier1比率(中核的自己資本比率)は9.44%と改良しました。

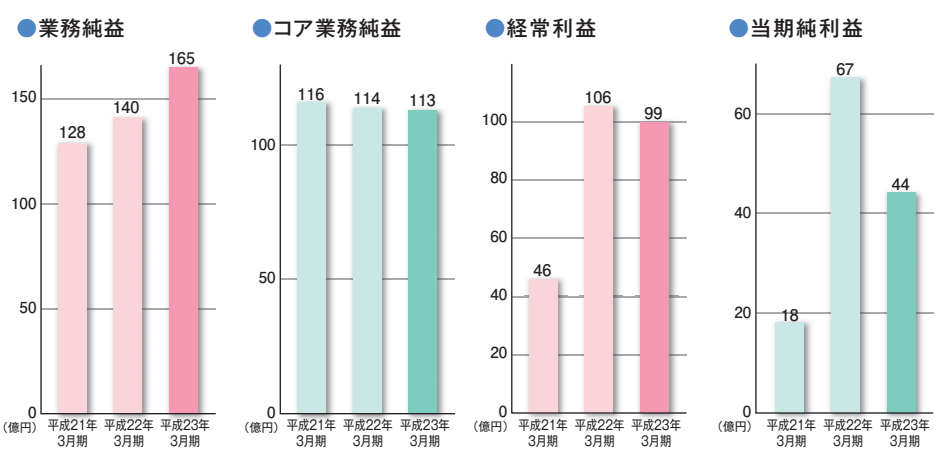
自己資本比率(単体)
銀行の健全性をあらわす自己資本比率は10.88%となり、国内基準の4%を大きく上回っています。



経営の健全性と安定性に関しては客観的な評価が大切です。「格付け」は、利害関係のない第三者である格付機関が企業の信用度や債務履行能力等を簡潔な記号で表したものです。最近では、企業の安全性を客観的に評価した指標として、広く知られるようになっております。

当行は、日本格付研究所から「A」の長期優先債務格付けを、またスタンダード&プアーズ社より「A-」の長期発行体格付けを取得しており、いずれも投資適格水準となる評価を得ております。

当行の格付け
投資適格水準との評価を得ています。



損益の状況
銀行本来業務の利益を表す業務純益は有価証券関係損益の改善等により増加しましたが、東日本大震災の直接的・間接的影響により与信コストが増加したことから、経常利益・当期純利益は減益となりました。

事業再生への取り組みや東日本大震災の影響による与信コストの増加、店舗等の修繕費用を計上したことから減益となりました。

業務純益・コア業務純益
業務純益は、銀行本来の業務(資金の運用・調達、サービスの提供等)でどれだけ利益をあげたかを表す銀行固有の指標で一般企業の営業利益に相当します。コア業務純益は、業務純益から一般貸倒引当金繰入額と債券関係損益の影響額を除いた利益です。



「座談会」東邦銀行陸上競技部

ふるさとづくりまじり

陸上競技

～ 陸上競技をととして福島に貢献したい ～

当行では4月1日に、CSR(企業の社会的責任)活動の一環として「陸上競技部」を創設しました。日本の陸上競技界をリードし、また陸上教室などを通して地域貢献活動に取組まれている陸上競技部監督の川本和久氏(福島大学教授)と選手6名に、陸上競技部部長の加藤常務取締役が福島への想いや今後の抱負などを伺いました。

ふるさと福島への想い

加藤・当行では、「とうほうの森」づくりや「小さな親切」運動、東邦育英会による奨学資金の支援などのCSR活動に積極的に取組んでいます。川本先生におかれましても、震災直後に全国各地で福島の復興支援陸上教室を開催し、募金活動を行ったと伺っております。『ふくしま』への想いについてお話しいただけますか。

川本・私は26歳のときに福島に来て以来27年間、福島にお世話になっていきます。人生の半分を福島とともに歩

んできましたから、今私があるのも福島のお陰だと思っています。今回の震災発生後、福島に恩返しをしたいと思い『負けんな、福島!立ち上がろう、福島!!復興支援陸上教室』という企画で募金活動を行いました。北海道から沖縄まで日本中を駆け巡りました。なかには子どもたち自身が「陸上教室を開催してほしい」と学校に掛け合ってくれたところもあり感動しました。

加藤・川本先生は福島在住27年ですから、もう完全に福島県人ですね。福島を想う先生のお気持ちは県民の皆さんにきつと伝わったと思います。





東日本実業団陸上競技選手権大会 (埼玉県熊谷市)



東邦銀行陸上競技部 監督

かわもと かず ひさ

川本和久氏

Profile

福島大学教授、同大学陸上競技部監督。

1957年生まれ

佐賀県伊万里市出身

大学卒業後、大学院でコーチ学を専攻。

陸上競技で福島から世界へ

栗本さんは埼玉県出身ですが、福島への思いを聞かせてください。
栗本…私は福島に住んで9年になります。福島は私にとって第2の故郷だと思っています。4月8日にあづま総合運動公園を訪問し、避難している子どもさんたちと鬼ごっこやリレーなどで交流しましたが、元気な姿をみて「希望を持って力強く生きている」と感じました。そんな福島の子どものためにも、私たちが福島を元気にしたいと思っています。

加藤…皆さん自身も大変な中、社会貢献活動に取組んでいただきありがとうございます。今回の震災の影響で、選手の皆さんの練習環境も大きく変わったのではないですか？
佐藤…震災直後は練習ができない期間もありましたが、世界選手権とその選考大会は待つてくれません。大学が避難所になっていたこともありグラウンドが使用できない状況だったので、練習場所を東京へ移してトレーニングをしていました。
川本…そうですね。選手たちが福島大学のグラウンドで練習を再開できたのは4月下旬からでした。私が再び選手を直接指導できたのもこの頃からでした。選手たち自身、これまで

と違った環境でのトレーニングには苦労があったと思います。しかし、8月に開幕する世界陸上出場の標準記録をなんとかしても突破しなければなりません。厳しいようですが、今回の震災を言い訳にすることはできません。

加藤…大変厳しい世界ですね。ところで、当行でも今回の震災の影響で最大で29店舗が休業を余儀なくされるなど、被害を受けましたが、役職員が一丸となって努力した結果、一部を除きほぼ平常どおりの営業体制となりました。そして休業していた店舗を再開したとき、お客さまから「銀行を開けてくれてありがとう」と感謝の言葉をいただき、私たちが銀行が業務を継続する大切さを改めて痛感しました。吉田さんは、今回の震災を経て陸上競技に対して改めて考えることはありましたか？
吉田…はい。私は福島県で生まれ育ったということもあり、今回の震災はシヨックが大きかったです。私は地元福島県の皆さんに支えられ、これまで陸上競技を続けられたと思っています。これまで支えていただいた県民の皆さんのためにアスリートとして何ができるか、正直みんなで悩んでいました。
渡辺…できればみんなで福島に残って



避難所の子供たちとの交流

被災者の方々の支援活動をしたとも考えていました。しかし、川本先生からは『復興に向かって立ち上がって行くときにアスリートとしてやるべきことが必ずあるから、それに向けて今は準備をなさい。君たちが今やるべきことは練習だ』と言われたことが強く印象に残っています。
川本…そうですね。彼女たちは被災者の方々のために何かをしたいと、非常に苦しんでいました。ただ、彼女たちに今できることは、やはりトップアスリートとして、被災者の皆さんに勇気を与えられる走りをするこ



(左から)

- 吉田真希子 選手 (400m・400mH)
01・03世界選手権代表、前日本記録保持者(400mH、4×400mR)
- 千葉 麻美 選手 (200m・400m)
08北京五輪、05・07・09世界選手権代表、日本記録保持者(400m、4×400mR)
- 佐藤 真有 選手 (200m・400m)
08北京五輪、07・09世界選手権代表、日本記録保持者(4×400mR)
- 川本 和久 監督
- 渡辺 真弓 選手 (100m・200m)
07・09世界選手権代表、日本記録保持者(60m)、前日本記録保持者(4×100mR)
- 青木沙弥佳 選手 (400m・400mH)
08北京五輪、07・09世界選手権代表、日本記録保持者(4×400mR)
- 栗本佳世子 選手 (100m・200m)
05東アジア大会代表

だと思えます。今回の震災で、選手たちはそういった使命感がさらに強くなったと思います。

スポーツは人間教育そのもの

加藤・福島を想いそして被災者の方々に支援したいという皆さんの話を聞いて、温かい気持ちになりました。私は銀行で人事を担当していますけれども、行員教育の面では、やはり思いやりを持った人を育てていくことが大切だと考えています。当行でも、様々な研修を通じて人材育成に力を入れていますが、川本先生は選手をどのように指導、育成されてきたのですか？

川本..そうですね。私自身、スポーツというのは人間教育そのものだと思います。ですから、陸上競技の指導を通して人を育てることが、私に課せられた使命ではないかと思っています。スポーツにおいて基本的な目標は、〝勝つ〟ことです。しかしそのためには、見えないところで努力をしなければなりません。そういったことを評価していくことが、人を育てていくためには大切だと考えてい

ます。これは学生であろうと社会人であろうと同じことだと思います。

陸上競技をとおして社会貢献

加藤..大変いい話を伺いました。私もその通りだと思います。今、私たちが取組んでいる社会貢献活動も人を成長させると言われていますが、皆さんは〝福島〟のためにどのように貢献していきたいと考えていますか？

千葉..私は、自分が生まれ育った福島が大好きです。地域に根ざしたアスリートとしてオリンピックで活躍し、そして福島の子供たちに勇氣や希望を与えたいと思います。

青木..そうですね。やはり陸上競技で明るいニュースを皆さんに届けることだと私も思っています。私は岐阜県出身ですが、今回の震災で福島県民の力強さを改めて感じました。福島



加藤啓 常務取締役(陸上競技部 部長)

県を陸上競技で盛り上げ、福島の復興に貢献したいと思っています。

川本..今、選手が言ったとおり、私たちにできる社会貢献とは陸上競技の楽しさを伝えることだと思います。そのためには、選手自身が皆さんの憧れの的となり輝いていなければなりませんと思っています。ここにいる佐藤選手、千葉選手、青木選手は北京五輪で4×400mリレーに出場しています。オリンピックのリレーに出場するということは、1億分の4という極めて狭き門を突破しなければなりません。その素晴らしさ、そしてその裏にある努力を、陸上教室などをおして子どもたちに伝えて行きたいと思っています。

加藤..そうですね。皆さんたちトップアスリートが活躍することは、子どもたちにスポーツへの興味や憧れを抱かせ、希望を与えることになると思います。また、陸上教室などは一流の競技者と子どもたちが触れ合う機会になり、陸上競技力の向上にもつながります。当行では、陸上競技部の活動を通じてCSR活動を一層充実させ、スポーツ振興による人づくりや地域づくりに貢献していくとともに、福島の復興に向け総力をあげて取り組んでいきたいと思っています。皆さんこれからも頑張ってください。本日はありがとうございました。

CSR（企業の社会的責任）への取り組み

当行では、地域社会の一員として「環境保全活動」「社会貢献活動」を中心としたCSR活動を積極的に展開しております。

環境保全活動への取り組み

「とうほうの森」づくりの実施

平成21年度から、福島県が推進する「企業の森林づくり」制度を利用し、須賀川市と喜多方市において、ボランティアの役員や家族による「とうほうの森」づくり活動を実施しております。

当行は、平成21年度に実施した「とうほうの森づくり」活動により、平成22年8月に福島県では初となる二酸化炭素吸収量認証制度の認証団体になりました。



みどりの授業の開催

地元の小学校を対象に「みどりの授業」を開催し、当行員が地球温暖化問題や自然環境保護の大切さなどをテーマに授業を行っております。



東邦・エコ定期預金による寄付

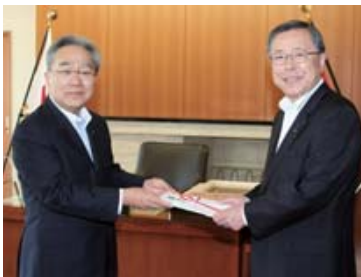
福島県内の森

林・湖・公園などの身近な自然環境保全活動を支援するため、お預け入れいただきたい「東邦・エコ定期預金」の残高に応じて、福島県内の3つの環境保全団体（清らかな湖、美しい猪苗代湖の水環境研究協議会）「自然首都只見応援基金」「福島県自然公園清掃協議会」へ寄付を行っております。



尾瀬の自然環境保護ファンドの販売

当行は、単独国立公園となった尾瀬の自然環境を後世まで末永く守るため、自然環境保護ファンドを販売し、収受した信託報酬の一部について財団法人尾瀬保護財団へ寄付を行っております。



社会貢献活動への取り組み

TOHO親子金融教室

地域への金融経済教育の推進の一環として、「TOHO親子金融教室」を開催しております。1億円体験やお金に関するゲームなどを通じて、お金の大切さを理解していただいております。



社会貢献者表彰制度

社会貢献活動への理解と参加を促すため、平成5年4月「社会貢献者表彰制度」を創設し、従業員および退職者の地域社会への貢献活動を表彰しております。これまで、延べ134名（行員71名、退職者63名）を表彰しております。



国立大学法人福島大学での提供講座開設

当行は、福島大学との連携協力協定に基づく教育支援事業として、平成23年5月に「地域金融論（東邦銀行提供講義）」を開設しました。当行の役員が講師となり、地方銀行経営や地域金融機関の役割と機能等についての講義を行っております。



財団法人東邦育英会

当行は、教育・人材育成の面から地域社会の発展に寄与することを目的に、当行創立40周年記念事業の一つとして、昭和58年3月に財団法人東邦育英会を設立しました。当行の基金拠出をもとに、これまで320名の大学生に対し、返済義務のない奨学資金による支援を行っております。

財団法人東邦銀行文化財団

財団法人東邦銀行文化財団は、文化・スポーツ団体への助成事業や、機関誌の発行などを通じて、福島県内の文化・スポーツ活動を幅広く支援しております。

また、同財団が運営する「原郷げんきょうのこけし群西田記念館」では、こけし収集の第一人者である故西田峯吉氏の愛蔵品を中心に、こけしや木地玩具、文献、資料等を展示しております。



財団法人福島経済研究所

財団法人福島経済研究所は、福島県内における経済一般および諸産業の動向などに関する調査研究を行い、月刊誌「福島の進路」の発行・経済講演会の実施・研修会への講師派遣等を通して、地域経済・産業等に関する情報の提供をしております。



「小さな親切」運動

当行は、「小さな親切」運動の福島県本部事務局を担当し、福島県内における「小さな親切」運動の普及推進を図っております。親切な心を育むことを目的に、「小さな親切」実行章贈呈のほか、紙芝居による「心の教育」プロジェクト、環境美化運動、「清らかな湖、美しい猪苗代湖の水環境研究協議会」やパンダハウスへの寄付、福島県社会福祉協議会への車椅子の寄贈などを行っております。



エコキャップ収集運動

「小さな親切」運動福島県本部では、平成21年度からペットボトルのキャップの売却益で発展途上国の子どもたちにワクチンを届ける「エコキャップ収集運動」を開始しております。また、当本部では「読売グループ福島」と相互協力のもと『地球に優しく、子どもたちに愛を。ふくしまエコキャップ運動』を展開しており、これまで県民の方々から約80トン（ポリオワクチン4万人分相当）ものエコキャップが寄せられるなど、大きな運動に発展しております。



偽造・盗難キャッシュカード被害に対する補償

当行では、「偽造カード・盗難カード預金者保護法」に則り、平成17年12月1日以降、偽造・盗難キャッシュカードによる不正な払戻しにより被害に遭われたお客さまに対して、被害の補償を実施しております。

盗難通帳・インターネットバンキングによる被害補償

「偽造・盗難キャッシュカードによる被害に対する補償」に準じて、平成20年5月から盗難通帳やインターネットバンキングによる被害についても補償を行っております。

視覚に障がいをお持ちのお客さまへの取組み

平成22年10月以降順次、目の不自由な方もご利用いただけるATM(注)を、全営業店に原則として1台以上、ATMコーナー入り口から一番近い場所へ設置することとしております。また、視覚に障がいをお持ちのお客さまが、窓口でお振込みする際の振込手数料の引下げを実施しております。

(注)ATM付属の受話器から流れる音声ガイダンスに従って、受話器にあるテンキーボタンを操作することでご利用いただけます。



「ふくしま」の復興に向けて

会津産コシヒカリを「会津継承米 氏郷」と称して、東京の有名寿司店やレストランなどと連携してブランド化を図るなど、食に関する情報発信や会津の食文化の情報網

づくりを取組んでいらつしやる、有限会社会津食のルネッサンス（会津若松市）の本田勝之助社長に、ふくしまの復興について伺いました。

有限会社 会津食のルネッサンス

代表取締役 **本田 勝之助氏**



会社概要

会社名 有限会社 会津食のルネッサンス
代表取締役 本田 勝之助
所在地 〒965-0025 福島県会津若松市扇町89-8

会社略歴

平成16年 ・有限会社会津食のルネッサンス設立
・米事業を開始(生産者5名、生産量12t)
平成20年 ・独自ブランド「会津継承米 氏郷」の販売を開始
・経済産業省「にっぽんe物産市プロジェクト地域エージェント」
・お米日本コンテストinしずおか 優秀賞(全国第2位)受賞
平成21年 ・経済産業省「にっぽんe物産市プロジェクト」
・中央エージェント兼地域プロデューサー
平成22年 ・代表、本田勝之助 丸の内朝大学「地域プロデューサークラス」講師
・「会津継承米 氏郷」生産農家33名・生産量150t

『米づくりは、
土づくり』

●本田社長はなぜ米事業を始めたのですか？

本田：私は大学卒業後、IT関連事業を立ち上げましたが、IT関連事業では、付加価値のある商品を作り続けなければ、海外で勝ち続けることができません。一方で、少し手を加えると進化できる、言い換えれば潜在力が高い「農業」に着目し、今の会社で米事業を始めました。

私は、日本の米が持つ文化的価値



本田社長プロデュースによる「ふくしまフードフェア2010」(郡山市:ピックパレットふくしま)



本田社長がプロデュースした「ふくしまフードフェアin東京」
「ふくしまの味!東京商談会」(銀座「マキシム・ド・パリ」)

値は必ず武器になると思っています。これまで会津で受け継がれてきた農業を途絶えさせたくない、そして「会津の味で世界と勝負したい」という夢をかけ、新たな会津のブランド米「会津継承米 氏郷」を作り始めました。

●米づくりに大切なことはどんなことですか？

本田…私自身、各地を巡り農業のノウハウを学びました。そして最終的に行き着いたところが「土づくりに」でした。年月をかけて育んできた「土」はヴィンテージものです。

現在、会津の33の農家で作る「会津継承米 氏郷」では、土を育む米づくりを大切にしてきましたが、もう一つ大切にしてきたことがあります。若い人たちに「誇り」を持って農業を継ぎたい！と思うてもらおうことです。これからの米づくりでは、良い土を受け継いでもらうためにも、若い後継者が育てるためです。そして若い後継者を育てるためには、いかに「誇り」を持って米づくりをしていけるかだと思います。

創造的な 復興支援を

●これまで大切にしてきた米づくりをはじめ、今回の震災による風評被害の影響はありますか？

本田…「何を作れば良いのだ。物が売れなくて困っている。」そんな悲痛の声が地元の生産者から寄せられています。地元の米農家や地鶏業者、木綿業者や漆器業者にいたるまで風評被害で相次いで注文がキャンセルされている状況にあります。今回の風評被害で、地元の農家をはじめ生産者は大変苦しんでいます。今回の震災により、会津の米を守りたい。そして、日本の米が持つ文化的価値を絶やしたくないという気持ちが一層強くなりました。

●これからの復興支援のあり方についてどのようにお考えですか？
本田…たくさんの方々、被災地の物産品を購入するなど応援してくださっています。一方で、世の中が復

会津ブランド米を 「会津継承米 氏郷」とは？

「会津継承米 氏郷」は、茶人の千利休の弟子で、利休七哲筆頭に数えられた戦国時代の会津の武将「蒲生氏郷」からその名をとりました。氏郷は、利休が豊臣秀吉の逆鱗に触れ切腹に追い込まれた際、茶の道を途絶えさせないため利休の子を会津にかくまい、命をかけて茶の文化と精神を後世に残しました。私は、土を守りそして継承されるお米に思いを込め、「氏郷」と名づけました。

この「会津継承米 氏郷」は、東京の有名寿司店である「銀座久兵衛」に納めています。毎年「会津継承米 氏郷」の生産農家の家族が、「銀座久兵衛」で忘年会を開催しています。生産農家の家族、特に後継者の方々に「親父が作った米が有名店で使われている」といった、米づくりへの誇りを持ってもらいたいとの思いを込めて、開催しています。





当行主催「農商工連携セミナー」で講演する本田社長

「FUKUSHIMA ブランドを世界に」

興支援という流れのなか、被災地以外の地域では「自分のところの物産品を買ってください」とは言いにくく、ジレンマを抱えている方も少なくないと思います。

このようなギャップを埋め、そして復興支援を長続きさせるためには、被災地と被災地以外の地域が共にユニークな企画を行うなどの工夫が必要だと考えています。例えば、三重県のヒノキと会津三島の桐を使った物産展や京都祇園祭と博多祇園山笠と会津田島の祇園祭で日本三大祇園祭ツアーを企画するなど、各地域の魅力を引き出しつつ復興支援を行うこともできると思います。

また、地元の飲食店で有名シェフによる『ディナーフェア』を開催することも面白いと思います。例えば、銀座の有名寿司店や老舗レストランのシェフが福島県のある店に来て料理を提供するなど、有名シェフのネットワークを使った企画も面白いと思います。地元のほか県外からもたくさんのお客さんが集まり、観光

的な呼び水にもなるのではないのでしょうか。また「このひとさじだけでこんなに味が変わるのか」など地元の料理人に新たな発見をもたらすなど、技術向上に大きく貢献すると思います。お涙頂戴ではなく、被災地と被災地以外の地域とが連携した創造的な復興活動を行っていくことが、今後ますます重要になってくると思います。

ふくしまの
復興に向けて

●福島が復興するために何が必要ですか？

本田：私は、福島が今後復興していくにあたり、大切なことが2つあると思います。一つは食材や材料などを被災地から買って（調達して）いただくことです。もう一つは、企業誘致などで雇用を確保することだと思います。

震災以降、被災地には支援活動を希望する企業の担当者が訪れますが、できれば商品開発の担当者

に来てほしいと申しあげています。企業の方にお願したいのは、福島県に研究施設や商品開発部門を設け、材料調達をできるだけ被災地で行ってほしい。そして被災地の企業や人（雇用）を使って私たちと一緒に「FUKUSHIMA」という名前の商品を作ってほしいと考えています。企業では商品の知名度を上げるために莫大な広告費をかけていますが、今回の震災により「FUKUSHIMA」の知名度は抜群です。そして、福島で作った商品を海外に発信していこうという動きは、既に広がっています。

福島復興の最大のポイントは、福島と長くお付き合い（ロングコミットメント）いただける企業や人を増やすことだと思います。「来年も一緒に「FUKUSHIMA」という名前の商品をつくらう」という輪が、日本中そして世界に広がっていくと信じ、私自身これからも復興に向け活動して行きたいと思えます。

（聞き手：広報・社会貢献室）

地域活性化・金融円滑化への取組み

■地域密着型金融推進計画

当行では、地域密着型金融の本質を、企業理念の一つである「地域を見つめ、地域とともに」そのものであると考え、「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化」「事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の提供」「地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献」の3つを柱とした「地域密着型金融推進計画」を策定しております。

また、平成23年4月より新コーポレートメッセージを「すべてを地域のために」とし、福島県を中心とする地域経済の復興に全力で取組んでおります。

■M&A仲介、事業承継対策への支援

友好的なM&Aの活用方法に関心をお持ちの企業オーナーなどを対象に、事業拡大や事業承継対策に関する「中小企業向けM&Aセミナー」を開催しております。

また、当行では、東京中小企業投資育成株式会社と業務提携を行い、事業承継や資本増強対策への支援に取組んでおります。



■販路拡大支援

県内各地の魅力ある食品や食材の販路拡大を目的に、食の商談会「ふくしまフードフェア」を開催し、農産物や水産物、加工品などを扱う出展者と「食」に関連したバイヤーとの商談の場を提供しております。

また、当行などの地方銀行32行が「地方銀行フードセレクション2010」を共同開催し、全国から集まった出展者と首都圏を中心としたバイヤーとの商談の場を提供しております。



ふくしまフードフェア in 東京
「ふくしまの味!東京商談会」
銀座「マキシム・ド・パリ」で開催



ふくしまフードフェア2010
来場者数 約1,000名



地方銀行フードセレクション2010
出展企業 660社
(うち当行お取引先 18社)

■成長分野支援のための取組み

福島県内における成長産業の集積を図り、新規事業・中小口のお客さまへの取組みを強化していくため、日本銀行の「成長基盤強化を支援するための資金供給制度」を活用した「成長基盤支援ファンド」を創設しております。本ファンドは、日本銀行が成長基盤分野として例示する18分野に対し支援を行うております。(平成22年度の取扱実績：43件／4,028百万円)

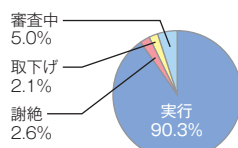
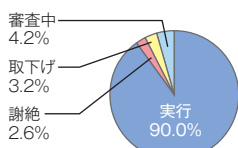
■金融円滑化への取組み

平成22年1月に「金融円滑化の取組み方針」を制定し、地域金融の円滑化に向けた取組みを一層強化しております。経営改善・事業再生支援への取組みや住宅ローンの相談態勢の整備などを通じて、お客さまのニーズに応じた金融サービスの提供に迅速かつ適切に対応してまいります。

条件変更の取組み状況 (平成21年12月～平成23年3月末までの累計)

実行件数 9,130件

実行金額 2,002億円



※震災等の影響によるご返済金の自動引落停止先を含む

東日本大震災 関連のお知らせ

すべてを地域のために

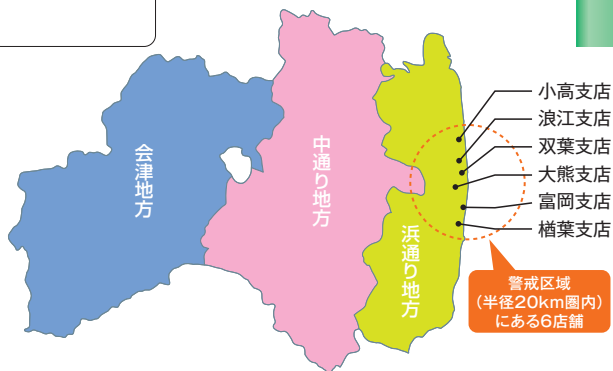
店舗の営業状況

店舗の被害や原発による避難等の影響で、一時は最大29店舗が臨時休業していましたが、仮店舗を設置するなど復旧に向け迅速に対応した結果、震災発生から2ヶ月弱で、原発事故による警戒区域内にある6店舗を除く全店舗(107ヶ店)が営業を再開しております。

●臨時休業店舗(5月31日現在)

警戒区域内にある6店舗

小高支店、浪江支店、双葉支店、大熊支店、富岡支店、楢葉支店



3月11日の震災発生当日に「災害対策本部」を本店内に設置し、テレビ会議システムを有効に活用するなど、業務継続のため迅速な対応を行ってまいりました。震災以降、当行が行ってきた取組みや震災に関連する情報などをお知らせいたします。

●仮店舗



郡山市役所支店
所在地 郡山市朝日1丁目20番11号
オフィスイン21 1階
TEL 024-924-0821
FAX 024-933-0126



矢吹支店
所在地 西白河郡矢吹町滝八幡169番地
TEL 0248-42-3131
FAX 0248-42-3683

被災された方への預金の払戻し

●緊急時の預金払戻し

東日本大震災で被災され、通帳・印章・カードをお持ちでないお客さまに対し、1日あたり10万円まで預金の払戻しを行っております。
また、震災により行方が分からなくなっているお客さまの預金について、配偶者および子(原則)1人あたり30万円までの預金払戻しを行っております。

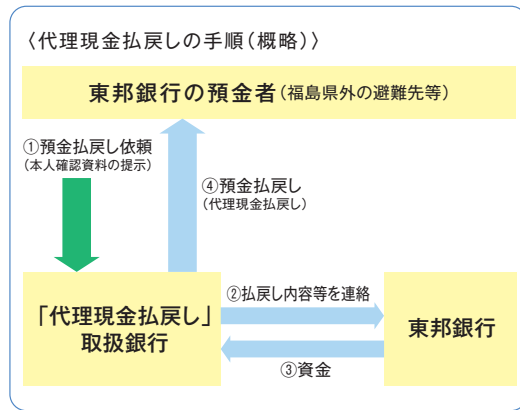
●福島県外へ避難されたお客さまへの現金払戻し

3月23日より県外へ避難されたお客さまを対象に、福島県外に本店を置く銀行(39行)と個別

に提携し、「代理現金払戻し」の枠組みを構築しております。

この他、全国銀行協会の制度に基づき、同協会に加盟する全国119行において、現金の払戻しを行っております。

●代理現金払戻し



〈取扱件数〉
1,080件
(5月31日現在)

〈都道府県別の主な取扱件数〉

埼玉県	299件	茨城県	92件
新潟県	223件	群馬県	83件

復興に向けた取組み

地域復興に向け各種ご融資商品を創設し、被災されたお客さまを金融面から支援しております。

なお、融資条件など詳しくは、店頭または商品概要説明書等でご確認ください。

●各種ご融資商品の創設

法人・事業主のお客さま

「災害復旧緊急融資」

直接震災の被害を受けた事業者の皆さまを対象とした融資商品で、ご融資金額最大50百万円、ご融資期間最長5年以内でご利用いただけます。

「東邦・災害対応資金」

直接、間接を問わず震災の被害を受けた事業者の皆さまを対象とした融資商品で、ご融資金額最大3億円、ご融資期間最大20年以内でご利用いただけます。

「東邦・復興支援私募債」

復興、再建に向け取組んでいる企業が発行する社債の元利金支払を当行が全額保証し、かつ総額を引き受ける「東邦復興支援私募債」を創設し、当行所定の金利から最大で年0.2%引き下げるなど、金融面で積極的に支援しております。

個人のお客さま

「東邦・災害復旧ローン」

住宅の修繕をはじめ、医療費、お車の購入など、罹災によって必要となった資金に対応するご融資商品で、ご融資金額最大5百万円、ご融資期間最長10年以内でご利用いただけます。

「東邦リフォームローン (無担保型)」の一部改訂

「東邦リフォームローン(無担保型)」の取扱いを一部改訂し、ご自宅のほか、お申込みのお客さまのご家族が所有する建物の「修繕、修理、増改築」資金にもご利用いただけるなど、従来以上にご利用しやすい商品となっております。



●地域復興、活性化に向けた取組み

震災復興支援通販
愛称

さすけねえ
ふくしま!!

この度の震災・原発事故による風評被害等の影響を受けている県内の食品関連事業者の販路拡大を支援することを目的に、当行オリジナルの通販事業「さすけねえ ふくしま!!」を企画しました。インターネットの活用に加えカタログを作成し、当行本支店、地銀ネットワーク等を通じ積極的にPRし福島県産品のイメージ回復、売上回復につなげてまいります。

詳しい内容は、こちらをご覧ください。

※[さすけねえ] 福島弁で「差し支えない・問題ない・大丈夫」の意味

サイトアドレス <http://chihou-gift.com/SHOP/21343/list.html>



東日本大震災 お客さままで相談窓口

平成23年5月16日より「東日本大震災 お客さままで相談窓口」を全営業店（営業休止店は除きます）に設置しております。預金や各種金融商品などのお取引、また事業性融資や個人ローンのご返済など、各種ご相談を幅広く受け付けております。



ご相談窓口

東邦銀行の全営業店

（臨時休業している小高支店・浪江支店・双葉支店・大熊支店・
富岡支店・楮葉支店は除きます。）

受付時間

平日 午前9時
～
午後3時

ただしローン専門店は
右記のとおりです。

店名	平日	土・日曜日
ローンプラザ福島支店 ローンプラザ須賀川支店 ローンプラザ会津支店	午前10時～ 午後6時	午前10時～ 午後4時
郡山ローンセンター（新さくら通り支店内） 白河ローンセンター（新白河支店内） いわきローンセンター（いわき鹿島支店内）	午前9時～ 午後5時	

ご来店の前予約

ご来店の際はお待ちせしないよう事前予約を受け付けて
おります。事前予約をご希望のお客さまは、以下のフリーダ
イヤルまでご連絡をお願いいたします。

お問い合わせ先

各種ご相談は、最寄の営業店
のほか、以下のフリーダイヤルで
も承っております。

受付時間は月曜～金曜（祝日は除きます）の
午前9時～午後5時となります。

【被災されたお客さまのご相談】

0120-14-8656

【臨時休業店舗のお客さまのご相談】

0120-104-157

【非常用持出品】非常用持出袋に入れ、玄関など持ち出し
やすい場所に置いておきましょう。

貴重品類	現金(10円玉)	
10円玉は公衆電話 用に使うので多めに。 通帳、カード、健康 保険証、運転免許 証などは番号を控 えたメモかコピーを 用意しておくとい いましょう	預金通帳	
	印鑑	
	保険証	
	免許証	
	免許証	
避難用具	懐中電灯	
懐中電灯はでき ば一人につき用意 したいもの。	携帯ラジオ	
	予備の乾電池	
	ヘルメット・防災ずきん	
生活用品	厚手の手袋	
避難所生活に最低 限必要なものです。 赤ちゃんやお年寄 り、障害者がある場 合などは考慮して揃 えましょう。	毛布	
	缶切り	
	ライター・マッチ	
	ナイフ	
	携帯用トイレ	
	携帯用カイロ	

救急用具	常備薬は多めにあ ると安心です。	救急箱絆(創膏・消毒液など)
		処方箋の控え
		胃腸薬・便秘薬・持病の薬
		生理用品・紙おむつ
非常食品	最低3日分は用意し ましょう。そのまま で食べられるものが 便利です。	乾パン
		缶詰
		栄養補助食品
		アメ・チョコレート
衣料品	動きやすいものを 選びましょう。セー ターなどの防寒具 も寒い季節には役 立ちます。	飲料水
		下着・靴下
		長袖・長ズボン 防寒用ジャケット・雨具

防災
チェック
リスト

いざという時のために、
日頃から準備しておきましょう
「もしも」のために必要と分かっている人も、まとめて準備している人は多くなかったのでは。今回の震災で「これが欲しかった」という物を中心に、家族で話し合っておくのもよいでしょう。



参考：総務省消防庁ホームページ
http://www.fdma.go.jp/bousai_manual/too/tool.html

次世代型店舗「北福島支店」オープン



▲ロビー



▲総合受付



▲喫茶コーナー・キッズコーナー



▲電気自動車

平成23年2月に、福島卸町支店を新築移転、店名変更した北福島支店をオープンしました。さらに平成23年3月に福島中央市場支店を統合し、福島市内北東部の中核店として生まれ変わりました。

北福島支店は、お客さまにより一層便利にご利用いただけるよう機能面、デザイン面での工夫をこらした次世代型店舗です。「総合受付」や「喫茶コーナー」「セルフオペレーションコーナー」などの新しい設備のほか、環境に配慮した「太陽光発電」や「壁面緑化」などを取り入れています。また、電気自動車「i-MiEV」の導入に伴い、駐車場には「電気自動車用充電スタンド」を設置し、最大1時間無料開放しています。



北福島支店
所在地
福島市鎌田字熊ノ前
19-4
TEL (024) 553-5151

東邦銀行のATMサービス

▶ ATM利用手数料無料でさらにお得

給与振込、年金振込、住宅ローン
いずれかご契約お客さま

当行ATMの時間外手数料が常時無料
コンビニATM利用手数料が月3回無料



▶ 24時間・365日年中無休でご利用いただけます

コンビニATMサービス

セブン銀行、イーネット（ファミリーマート、ミニストップ）、ローソンとATM提携をしております。

▶ もっと便利に

ATM営業時間拡大

平日・土曜日、祝日は最長22時まで、日曜日は21時までご利用いただけます。
なお、コーナーにより稼働時間が異なりますのでご確認ください。

土日の窓口営業「郡山北支店」

郡山北支店では口座開設や入出金などの預金業務、資産運用や個人ローンのご相談、貸金庫などが土曜・日曜日にご利用いただけます。



営業時間※
平日、土曜・日曜
9:00～15:00

（ただし、貸金庫は
9:00～16:30となります。）

※祝日および12月31日～1月3日、5月3日～5月5日は休業とさせていただきます。ただし、12月31日～1月3日、5月3日～5月5日のいずれかの日が土・日曜日に重なった場合を除き、祝日と土・日曜日が重なった日は営業いたします。

くらしをもっと便利に、時間も大切にしたいなら

いつでも、どこでも、バンキング



個人のお客さま専用

3つの便利!!

いつでも
ご利用可能!!

土・日など銀行が休みの日にも24時間ご利用いただけます。

どこからでも
ご利用可能!!

ご自宅はもちろん、外出先や旅行先からもご利用いただけます。

インターネットから
お申込み可能!!

お申込みは〈東邦〉のホームページで。面倒な申込書の記入や捺印は必要ございません。

3つのお得!!

振込手数料が
お得!!

窓口比べて振込手数料が**210円(税込)～525円(税込)**もお得!!

定期預金の
金利がお得!!

新規にお預け入れいただいたスーパー定期預金は店頭表示金利年**0.1%**の上乗せ!!(初回満期日まで)

投資信託の
手数料がお得!!

新規にご購入いただいた投資信託の販売手数料の**30%**をキャッシュバック!!

総預金と貸出金の状況

総預金は3兆748億円、貸出金は2兆1,378億円となりました。

総預金・預かり資産

地域のお客さまからのご信頼を得て、譲渡性預金を含めた総預金は、1,050億円増加し3兆748億円となりました。特に個人預金については802億円増加し2兆1,286億円となりました。なお、平成22年度中の総預金のピーク残高は3兆1,239億円になります。

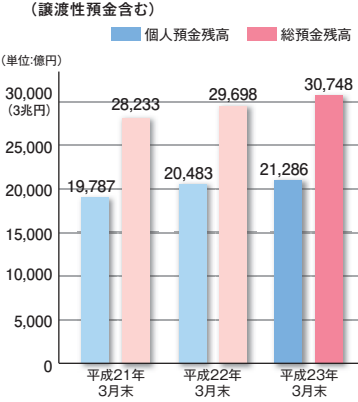
預かり資産残高は、生命保険の残高の増加により、全体で5億円増加し4,007億円となりました。

貸出金

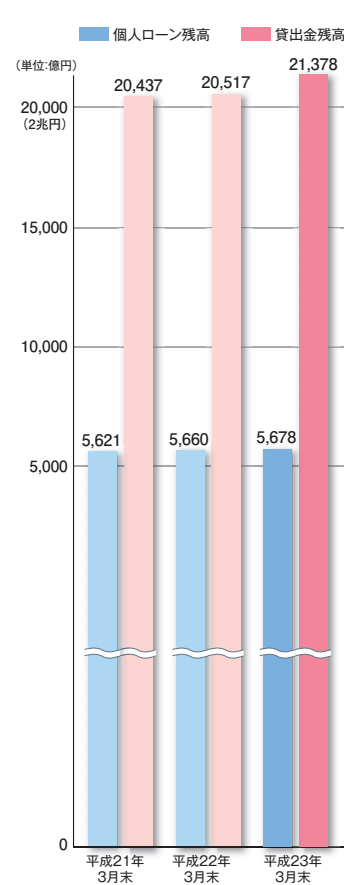
地元企業をはじめとした事業性貸出の需要に積極的に対応するとともに、住宅ローンを中心とした個人のお客さま向け貸出の増強にも努めました結果、860億円増加し2兆1,378億円となりました。

(平成22年3月末比)

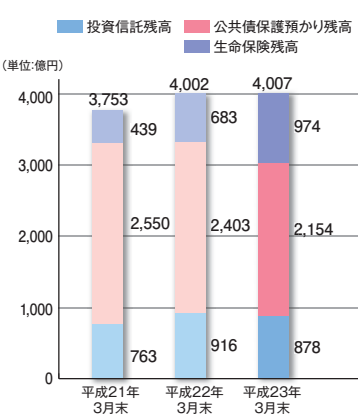
●総預金・個人預金残高の推移



●貸出金・個人ローン残高の推移



●預かり資産 (投資信託・公共債・個人年金保険)



金融再生法開示債権

正常債権 2兆1,069億円

破産更生債権及びこれらに準ずる債権 246億円

破産、会社更生、再生手続等の事由により、経営破綻に陥っているお取引先に対する債権およびこれらに準ずる債権のことです。

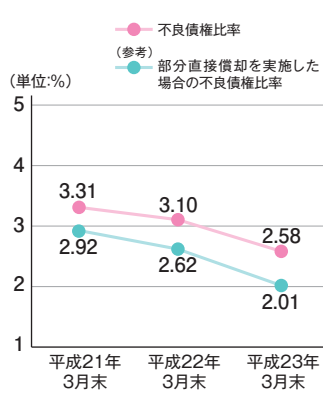
危険債権 302億円

お取引先が経営破綻の状態には至っていないものの、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権のことです。

要管理債権 10億円

3カ月以上延滞している債権および貸出条件を緩和した債権のことです。

●不良債権比率の推移



●金融再生法開示債権の保全状況

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保・保証等		保全率 (B/A)
			担保・保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	246	246	98	148	100.0
危険債権	302	226	159	67	74.8
要管理債権	10	6	4	2	63.6
合計	559	479	261	217	85.7

(単位:億円、%)

金融再生法開示債権

金融再生法(正式名称「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」)に基づく基準により、貸出金等の分類を公表しております。対象債権は私募債、貸出金、外国為替、未収利息、仮払金、支払承諾見返及び使用貸借又は賃貸借契約により貸し付けた有価証券です。

部分直接償却

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の担保・保証付債権について、債権額から担保の評価額及び保証等により回収が可能と認められる額を差し引いた残額を、貸倒償却として債権額から直接減額することです。

不良債権の状況

十分な引当を行い、健全性の確保に努めています。

金融再生法に基づく資産査定の結果、貸出金・支払承諾見返等の総与信のうち正常債権以外の債権は、83億円減少し559億円となりました。これらの債権については、担保等により保全を図るとともに、必要な部分については貸倒引当金により十分な引当を行い健全性の確保に努めています。

(注)なお、当行では部分直接償却を実施していませんが、実施した場合の正常債権以外の債権は434億円となります。

(平成22年3月末比)

22年度決算のご報告

第108期末(平成23年3月31日現在) 貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	81,748	預 金	2,967,709
コールローン	20,596	譲渡性預金	107,185
買入金銭債権	3,852	借 用 金	17,981
商品有価証券	605	外国為替	99
金銭の信託	19,270	その他負債	9,501
有価証券	953,560	役員賞与引当金	28
貸出金	2,137,806	退職給付引当金	9,868
外国為替	2,088	役員退職慰労引当金	661
その他資産	9,960	睡眠預金払戻損失引当金	155
有形固定資産	35,617	偶発損失引当金	311
無形固定資産	2,191	ポイント引当金	63
繰延税金資産	14,300	災害損失引当金	235
支払承諾見返	4,637	再評価に係る繰延税金負債	4,321
貸倒引当金	△25,331	支払承諾	4,637
		負債の部合計	3,122,762
		(純資産の部)	
		資 本 金	23,519
		資 本 剰 余 金	13,653
		資本準備金	13,653
		利益剰余金	100,033
		利益準備金	8,990
		その他利益剰余金	91,043
		自 己 株 式	△986
		株主資本合計	136,219
		その他有価証券評価差額金	1,711
		土地再評価差額金	212
		評価・換算差額等合計	1,923
		純資産の部合計	138,143
資産の部合計	3,260,905	負債及び純資産の部合計	3,260,905

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第108期(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで) 損益計算書

(単位:百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	
資金運用収益	45,256
(うち貸出金利息)	(35,397)
(うち有価証券利息配当金)	(9,707)
信託報酬	0
役員取引等収益	10,258
その他業務収益	4,095
その他経常収益	1,750
経 常 費 用	51,447
資金調達費用	3,588
(うち預金利息)	(3,088)
役員取引等費用	5,037
その他業務費用	43
営業経費	36,363
その他経常費用	6,414
経 常 利 益	9,912
特 別 利 益	0
特 別 損 失	2,459
税引前当期純利益	7,452
法人税、住民税及び事業税	776
法人税等調整額	2,198
法人税等合計	2,974
当 期 純 利 益	4,477

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(ご参考)

第108期末(平成23年3月31日現在) 信託財産残高表

(単位:百万円)

資 産	金 額	負 債	金 額
現金預け金	21	金銭信託	21
合 計	21	合 計	21

(注)1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 共同信託他社管理財産の取扱いはありません。

3. 元本補てん契約のある信託の取扱いはありません。

貸借対照表とは

期末における資金の運用・調達の状況等を示します。

損益計算書とは

1年間の営業の結果、どのように利益が生じたかを示します。

【資産の部】

企業や個人へのご融資である「貸出金」、債券や株式での運用を表す「有価証券」、短期金融市場での運用を表す「コールローン」などの資金の運用状況を表しています。

【負債の部】

「預金」等、主に資金の調達状況を表しています。

【純資産の部】

株主の皆さまからのご出資である「資本金」や、これまでの利益の蓄えである「剰余金」等を表しています。

【経常収益】

企業の売上高と同様に、貸出金利息や各種手数料等の収益を表します。

【経常費用】

企業の売上原価と同様に、預金利息や営業経費等の費用を表します。

【経常利益】

経常収益から経常費用を控除したものです。

【当期純利益】

経常利益に、特別損益や法人税等を加減して算出し、当期中の利益を表します。

グループの22年度決算のご報告(連結情報)

連結貸借対照表(平成23年3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	81,748	預 金	2,967,588
コールローン及び買入手形	20,596	譲渡性預金	107,055
買入金銭債権	3,852	借 用 金	17,981
商品有価証券	605	外国為替	99
金銭の信託	19,270	その他負債	9,510
有価証券	954,153	役員賞与引当金	28
貸出金	2,137,806	退職給付引当金	9,906
外国為替	2,088	役員退職慰労引当金	667
その他資産	9,965	睡眠預金払戻損失引当金	155
有形固定資産	35,620	偶発損失引当金	311
無形固定資産	2,192	ポイント引当金	63
繰延税金資産	14,327	災害損失引当金	235
支払承諾見返	4,637	再評価に係る繰延税金負債	4,321
貸倒引当金	△25,331	支払承諾	4,637
		負債の部合計	3,122,562
		(純資産の部)	
		資 本 金	23,519
		資 本 剰 余 金	13,653
		利益剰余金	100,680
		自 己 株 式	△1,020
		株主資本合計	136,832
		その他有価証券評価差額金	1,715
		土地再評価差額金	212
		その他の包括利益累計額合計	1,928
		少数株主持分	209
		純資産の部合計	138,970
資産の部合計	3,261,533	負債及び純資産の部合計	3,261,533

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	
資金運用収益	45,255
(うち貸出金利息)	(35,397)
(うち有価証券利息配当金)	(9,707)
信託報酬	0
役員取引等収益	10,258
その他業務収益	4,180
その他経常収益	1,821
経 常 費 用	51,518
資金調達費用	3,588
(うち預金利息)	(3,088)
役員取引等費用	5,037
その他業務費用	122
営業経費	36,354
その他経常費用	6,414
経 常 利 益	9,997
特 別 利 益	0
特 別 損 失	2,460
税金等調整前当期純利益	7,537
法人税、住民税及び事業税	781
法人税等調整額	2,197
法人税等合計	2,978
少数株主損益調整前当期純利益	4,559
少数株主利益	6
当 期 純 利 益	4,552

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

子会社・子法人等

会社名	主要業務内容	区分
東邦情報システム株式会社	電子計算機ソフトウェア開発業務	子法人等

関連法人等

会社名	主要業務内容
東邦リース株式会社	リース業務
東邦コンピューターサービス株式会社	電子計算機による計算業務
東邦信用保証株式会社	信用保証業務
株式会社東邦カード	クレジットカード業務および信用保証業務
株式会社東邦クレジットサービス	クレジットカード業務および信用保証業務

先人の知恵を知る

ふくしまの「技」探訪

広い県土を有する福島県では、それぞれの地域で異なる文化や風習、特産品づくりなどが発達してきました。連続と受け継がれてきた先人の技は、今なお私たちの生活と共に息づき、次の世代へと伝えられていくでしょう。

浪江町

320年以上の伝統の技を これからも守り、伝えていく おほほり 大堀相馬焼



「焼き物の里」として知られる浪江町大堀地区。ここでは、国の伝統工芸品に指定され、320年以上の歴史を持つ大堀相馬焼の窯元20数件により、湯呑みや花瓶、コーヒークップなど、日常的に使う物が作られてきました。

大堀相馬焼は『青ひび・走り駒・二重焼』が大きな特徴。走り駒は狩野派の筆法と言われ、相馬藩の御神馬を手描きしたもので、二重焼は入れたお湯が冷めにくく、持つことも出来るよう工夫されています。この焼き物を窯から出し、外気に触れた時に鳴る『ピーン、ピーン』というひび割れの音(貫入音)は、「ふくしまの音30景」に選ばれ、福島を代表する焼き物の一つとして連続と受け継がれてきました。

同地区は、現在避難区域に指定されています。そこで今後の復興と活動について、大堀相馬焼協同組合理事長・半谷秀辰さんにお聞きしました。



「青ひび・走り駒・二重焼」の伝統を受け継ぐ作品



新しい作品を創り出している窯元も

復興に向けて、一致団結していきます

大堀相馬焼協同組合理事長 半谷秀辰さん



震災で家も窯も壊れ、組合員は県内外に避難してバラバラになってしまいました。それでも、このまま伝統を絶やすわけにはいかないと、思いから、役員が話し合いをした結果「いつになるかはわからないけれど、必ず浪江に戻って復興する」という意見で一致しました。

避難先で協力を申し出てくれた窯元さんもいましたが、組合としては、自分たちの窯で作ることにはこだわりたいと思っています。幸い経済産業省が支援してくれることになったので、できれば町役場の事務所がある近辺に小さな窯を作り、伝統の継承と組合員の和の拠点という形で作り続けて行きたいと考えているところです。窯ができ、実際に活動できるようになるにはまだまだ時間がかかりますが、大堀相馬焼がこの先どうなるのか心配している組合員も、活動拠点が決まれば安心できるし、窯ができればきっと戻って来てくれると思っています。

先日は、「陶芸の杜おほり」に壊れずに残っていた作品の一部を持ち出す事が出来ました。東京の福島県八重洲観光交流館さんなどのお客様に、少しずつですが納品できるのがうれしいですね。これから長い道になりそうですが、組合員が一致団結して手をつなぎ、復興に向けて頑張っていきたいと思っています。

株式についてのご案内・役員

事業年度

当行の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までの1年とします。

株式数・株主数

[株式数] ・発行可能株式総数……………798,256,000株
 ・当期末の発行済株式の総数……………255,500,000株
 [株主数] ・当期末現在株主数……………12,415名

配当

期末配当の基準日は、毎年3月31日といたします。
 中間配当をする場合は、取締役会の決議によって、毎年9月30日を基準日として配当いたします。

定時株主総会

毎事業年度終了後3か月以内に開催いたします。

定時株主総会の基準日

定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日といたします。

単元株式数

当行の単元株式数は、1,000株といたします。

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関

事務取扱場所 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
 日本証券代行株式会社 電話 ☎0120-707-843

株式取扱手数料

株式取扱規程に定める手数料

公告掲載方法

電子公告の方法により、当行ホームページに掲載いたします。
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、福島市において発行する福島民報および福島民友ならびに東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。

東邦銀行ホームページ <http://www.tohobank.co.jp/>

〈各種お手続きのご案内〉

●住所変更、配当金受取方法の変更等のお手続き

原則として株主さまが口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお申し出ください。株主名簿管理人(日本証券代行)ではお取扱できませんのでご注意ください。

●特別口座に関する各種お手続き

証券会社に口座を開設されていない株主さまにつきましては、特別口座を開設しております。特別口座から株主さまが証券会社に開設された口座への振替、単元未満株式の買取請求および買増請求等の各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(日本証券代行)にお問い合わせください。

株主優待制度

株主の皆さまからの日頃のご支援にお応えするとともに、当行への投資魅力をこれまで以上に高め、より多くの皆さまに長期間当行株式を保有していただくことを目的に、株主優待制度を導入いたしました。毎年3月31日の株主名簿に記録された1,000株(1単元)以上お持ちの株主さまに対し、金利上乘せ商品である「株主優待定期預金」を取扱っております。

役員

(平成23年3月31日現在)

取締役会長 瀬谷 俊雄
 取締役頭取 北村 清士
 専務取締役 遠藤 博
 常務取締役 渡辺 正彦
 常務取締役 阿部 賢輔

常務取締役 榑谷 昭一
 常務取締役 加藤 容啓
 常務取締役 阿部 隆彦
 取締役 丹野 真助
 取締役 齋藤 紀一

取締役 喜古 真
 取締役 菊地 邦幸
 取締役 小暮 憲一
 取締役 守谷 光雄
 取締役 竹内 誠司

常勤監査役 高橋 邦尚
 常勤監査役 鈴木 廣明
 監査役 齋藤 信一
 監査役 平賀 八郎
 監査役 牧野 藤厚



プロフィール PROFILE

(平成23年3月31日現在)

設 立 ◎昭和16年11月4日 従 業 員 数 ◎2,007人
 本 店 所 在 地 ◎福島市大町3番25号 総 資 産 ◎3兆2,609億円
 店 舗 数 ◎本支店113カ店 預 金 ◎2兆9,677億円
 (県内104、県外8、 貸 出 金 ◎2兆1,378億円
 インターネット支店1)
 資 本 金 ◎235億19百万円

ふるさとの情景

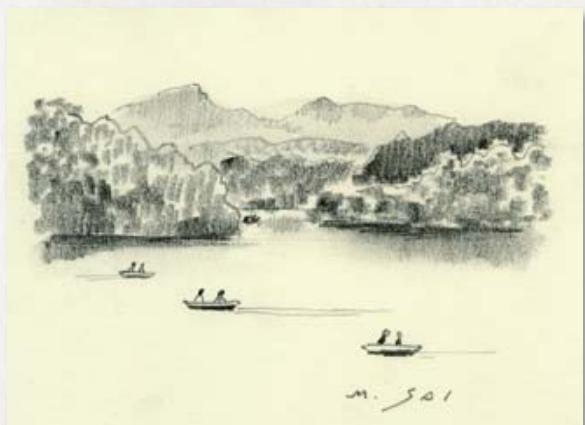
ふるさと福島から遠く離れた名古屋で、福島絵を描き続ける齋正機氏。
東日本大震災で被災した福島に想いを馳せ、描いた絵をお寄せいただきました。

この度の東日本大震災により被災された方々に心からお見舞い申し上げます。
そして、一日も早く安心の日々を送ることができるようお祈りしております。

日常を取り戻すのにこれ程悲しく困難な出来事はありません。
でも、私は信じています。素晴らしい復活を遂げることを……。

福島のような情景が、いかに日本人にとって大切かを伝えるために
私はこれから絵を描いていこうと思っています。

齋正機



五色沼と磐梯山



福島 花見山



松川橋



齋正機 (さいまさき)

1966年 福島県 福島市生まれ
1992年 東京藝術大学 美術学部 絵画科 日本画専攻 卒業
1994年 同 大学院 修了



残滓牧景 第二章～M氏ノ運転シタ風景ノ記憶～
『水デ満タサレル』

ざんし
残滓牧景第二章 齋 正機

田植えが終わって、田んぼは水で満ちている。

その土手には、静々と歩いている老婆とその孫らしき子ども二人。
(この子ども達は、将来、この風景をどう思い出すんだろう……)

父は、僕が十歳ぐらいまでバイクで福島機関区へ通っていた。

よく休日はバイクの後ろに乗せられていた。

僕の行きたいような場所へ行ってくれるはずもなく、父の思いつきの場所ばかり。水たまりの多い山道を走り、バイクが水たまりに入る度に泥が跳ね上がった。そして、だいたい行き着く場所は小高い山の見晴らしのよい場所である。

「どうだ。いい景色だろう」と父は自慢げに言った。

「ほら、お前も食え」と、パンパンに膨れたポケットから夏みかんを出す。

「いらぬよ」と言っているのに、父は夏みかんを剥き始めた。

「他に何かないの」と聞くと、

「あるわけあんめえ」そう言いながら、黙々と夏みかんを食べている。

食べ終わると、残りかすをひとまとめにして、近くの畑のゴミ穴に捨てた。

そして、広がる田んぼを眺めながら父は僕に言うのだ。

「あの三つ目の山むこうがアメリカだったら、どうする？」

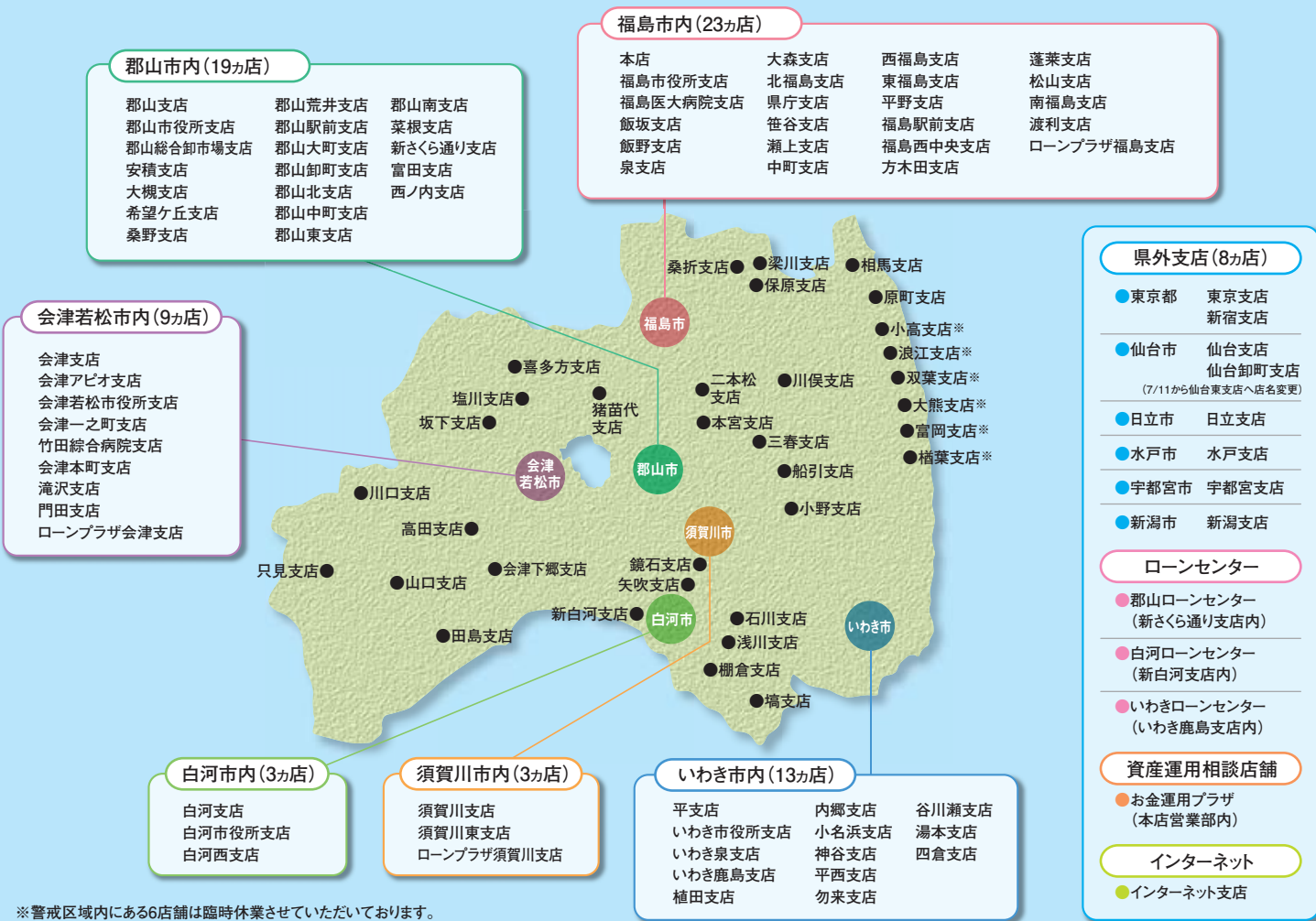
「英語しゃべれねえもん。困るべよ」と仕方なく僕は答える。

「んだがらなあ、英語勉強せねばいかんだぞ」と父は言った。

見下ろした田んぼは水で満ちていて、鏡のように空が映っていた。

店舗ネットワークのご案内

(平成23年6月現在)



各支店の地図をホームページでご覧いただけます。 [東邦銀行ホームページ http://www.tohobank.co.jp/](http://www.tohobank.co.jp/)

お問い合わせ先	お問い合わせ先
<p>商品・サービスのご照会</p> <p>▶ ダイレクトバンキングのサービス内容 テレホンバンキングの操作方法等</p>	<p>[ハローサービスセンター]</p> <p>0120-14-8656 ご利用時間 9:00~17:00 (銀行休業日を除く)</p>
<p>▶ 事業資金のご相談(金融円滑化に関するご相談)</p>	<p>[ビジネスローンプラザ]</p> <p>0120-1047-17 ご利用時間 9:00~17:00 (銀行休業日を除く)</p>
<p>▶ 個人向けローンのご相談(金融円滑化に関するご相談)</p>	<p>[個人ローン専門店(福島・郡山・須賀川・会津・いわき・白河)]</p> <p>0120-608-104 ご利用時間 月~金※1/(ローンプラザ) 10:00~18:00 (ローンセンター) 9:00~17:00 土・日※2/(ローンプラザ・ローンセンター) 10:00~16:00</p>
<p>▶ 投資信託・金融商品仲介業のご照会</p>	<p>[投信・金融商品仲介フリーダイヤル]</p> <p>0120-104-150 ご利用時間 9:00~17:00 (銀行休業日を除く)</p>
<p>▶ 年金保険等生命保険のご照会</p>	<p>[保険フリーダイヤル]</p> <p>0120-104-906 ご利用時間 9:00~17:00 (銀行休業日を除く)</p>
<p>▶ クイックカードローン「TOHOモビット」のご照会</p>	<p>[TOHOモビット専用フリーダイヤル]</p> <p>0120-24-919-6 ご利用時間 24時間 (365日受付)</p>
<p>▶ インターネットバンキング操作</p>	<p>[ヘルプデスク] 【個人のご契約者専用】 0120-104-123 ご利用時間 9:00~17:00 (銀行休業日を除く) 【法人のご契約者専用】 0120-104-110 ご利用時間 9:00~18:00 (銀行休業日を除く)</p>
<p>▶ ご相談・ご意見・苦情</p>	<p>[お客さま相談室]</p> <p>電話 024-523-3131 (代表) FAX 024-524-1159 受付時間 9:00~17:00 (銀行休業日を除く)</p>

※1. 祝日、12月31日~1月3日、5月3日~5月5日を除きます。
 ※2. 12月31日~1月3日、5月3日~5月5日を除きます。ただし、その他の祝日と土・日曜日が重なった日はご利用いただけます。